

VIII. その他の危険有害性情報の「見える化」

- ・ 玉突きで休憩所を移動することが多かったので、移転のたびに定期的に避難訓練を実施しました。万が一に備えるとともに、課題を明確にしました。もちろん全作業員参加で、ピーク時は400人ぐらいいました。



改修中の建物からの避難訓練後の振り返り状況



新築建物地下2階からの避難訓練と点呼状況



当作業所の避難訓練では、避難動線を確認するだけの訓練ではなく、実際に出火場所を仮に設定しています。さらに誘導班や消火班、救助班など役割とシナリオを決めて実際に消火確認や誘導確認をるところまで作り込んだ訓練を実施しています。その為、当作業所の避難訓練は左の写真のような緊張感とスピード感のある訓練が実施できています。



AEDの体験訓練実施状況



内装職種が増えた時は、立馬訓練を実施しました